ロータリー青少年交換プログラムについて

国際ロータリー第２６５０地区　青少年交換委員会

Rotary District 2650

rotary youth exchange

ロータリー青少年交換プログラムへようこそ

- **交換学生として海外で過ごす（特別な経験）**
- **新しい文化や考え方を体験　　成長し学ぶことができる**

Rotary District 2650

rotary youth exchange

ロータリーって何？
ロータリーの価値観って何？

Rotary District 2650 | rotary youth exchange

ロータリーのビジョン

（ロータリーが目指す未来）

　私たちは、世界で、地域社会で、そして自分自身の中で、持続可能な良い変化を生むために、人びとが手を取り合って行動する世界を目指しています。

Rotary District 2650

rotary youth exchange

ロータリーのエッセンス

（ロータリーとはなにか）

**　ロータリーは、さまざまな国や文化、職業のリーダーのネットワークであり、交流を通じてアイデアを広げ、世界中の地域社会に変化をもたらすために行動しています。**

Rotary District 2650 | rotary youth exchange

ロータリーの価値観

（あらゆる行動の土台となる信念）

- **親睦**：生涯にわたる友情を育む
- **高潔性**：誠実に行動し、約束を守る
- **多様性**：異なる考え方を受け入れる
- **奉仕とリーダーシップ**：リーダーシップと職業の知識を生かし、地域社会の課題に取り組む

Rotary District 2650 | rotary youth exchange

ロータリーの目的

（マニュアルブック2－１－「派遣学生に必要なロータリー知識」）

- ロータリーの目的は、会員一人ひとりが、**ロータリーの価値観**を大切にしながら、仕事や日々の生活、社会での活動の土台に、**他者や社会のために自分の力を役立てようとする姿勢（奉仕の理念）**を置くことです。そして、その理念を互いに勧め合い、育み、実践していくことです。

Rotary District 2650

rotary youth exchange

ロータリーの目的

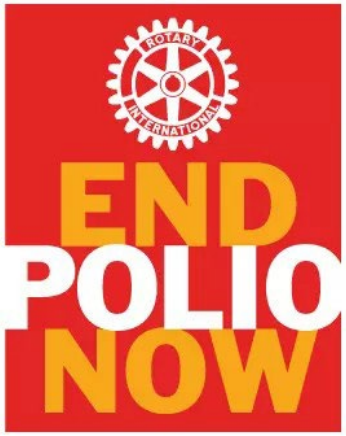
（マニュアルブック2－１－「派遣学生に必要なロータリー知識」）

- **青少年交換は、世界の人びととのつながりを通じて、国際理解・親善・平和を推進するという「ロータリーの目的」の第4項を実践する機会です。**

「ロータリーの活動分野」

国際ロータリーは、大きなニーズのある分野に重点をおき、国際関係を培いながら、より平和な世界を築くために、人びとの暮らしを支援しています。重点分野は、次のとおりです。

- 平和の推進
- 疾病との闘い　　ポリオの撲滅活動「End Polio Now」に力を注いでいます。
- 水と衛生
- 母子の健康の改善
- 教育の支援
- 地元経済の成長
- 環境の保護



「ロータリーの常設の青少年プログラム」

国際ロータリーの理事会が、次世代のリーダーを育てるため、クラブと地区のために推奨し、枠組みと指針を定め組織化させた活動プログラムである。

インターアクトクラブ（ＩＡＣ）

　　12歳～18歳までの中高生で構成され、奉仕、国際理解、指導力育成を目的としたクラブ

ローターリー青少年指導者養成プログラム（ＲＹＬＡ）

　　30歳までの若者を対象に実施されるリーダーシップ養成のためのセミナーや合宿

ローターリー青少年交換（ＲＹＥ）

Rotary District 2650 | rotary youth exchange

「ロータリークラブ」(RC)

クラブ会長　クラブ幹事
青少年交換の担当委員会（委員長・委員）
クラブ事務局

「国際ロータリー」(RI)

国際ロータリー会長
青少年交換・青少年保護担当チーム

「地区」(D,RID)

ガバナー　ガバナーエレクト　パストガバナー
幹事長　青少年奉仕担当の副幹事長　幹事　副幹事
地区青少年交換委員会
ガバナー事務所

（マニュアルブック2－１－「派遣学生に必要なロータリー知識」）

「ローターアクトクラブ」（ROTARACT CLUB）

ローターアクトクラブは 、リーダーシップの能力を磨き、世界中に友人を作りながら、社会で起きているさまざまな課題に取り組むことへの意欲にあふれた18歳以上の青年男女のためのクラブです。

現在、世界には、9,550のローターアクトクラブがあり、会員数は132,296人、平均年齢は26歳です。（2025年6月末現在）

Rotary District 2650 | rotary youth exchange

ロータリー年度

ロータリーの１年は、
７月１日に始まり翌年６月３０日に終わります。

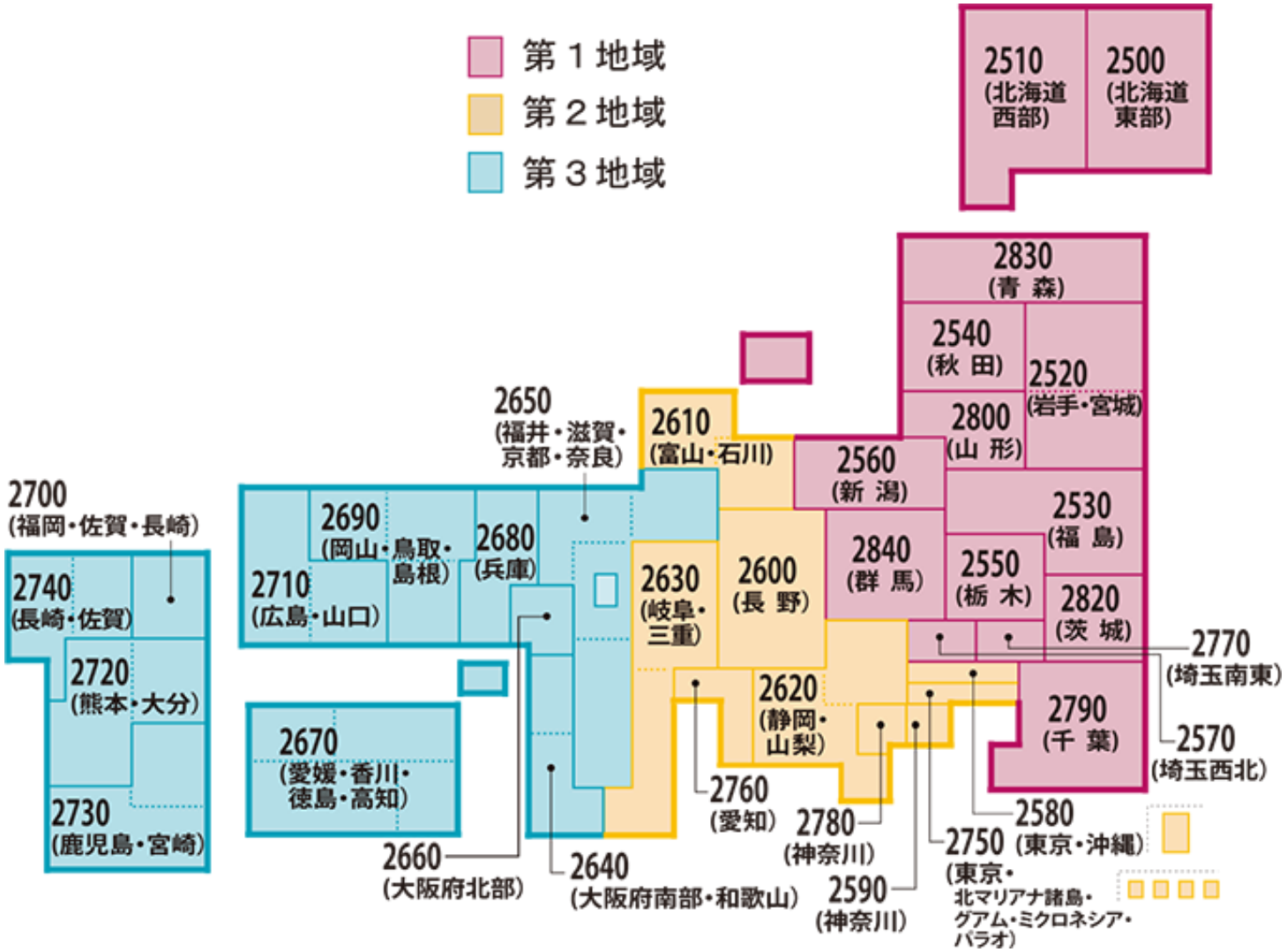
2026.7.1～2027.6.30までを2026－27年度と呼びます。

あなた方は、2027年7月～8月に出発し、2028年6月～7月に帰国しますので、2027-28年度ロータリー青少年交換学生になる予定です。

「地区 DISTRICT」

Rotary District 2650

rotary youth exchange

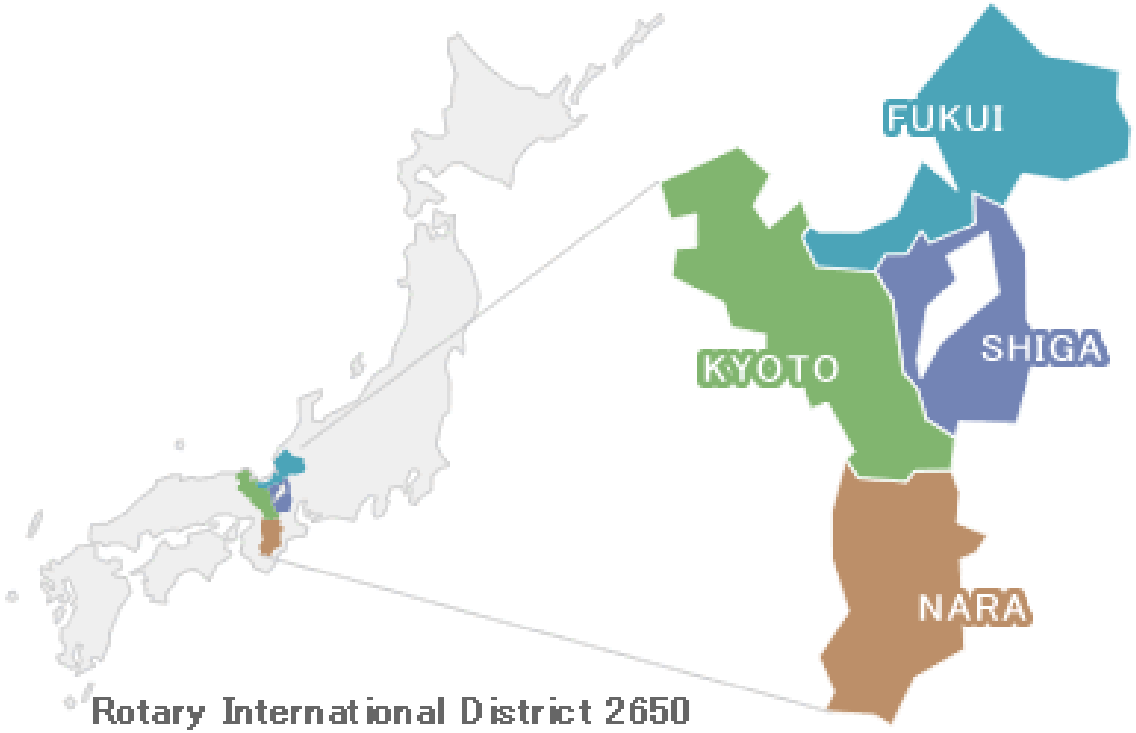


Rotary District 2650

rotary youth exchange

- 「２６５０地区」は、福井、京都、滋賀、奈良の１府３県からなります。

2650地区内には９６のロータリークラブがあります。



「ロータリーの誕生」

「ロータリアン」

「地区大会」　2027年4月４日（日）サンドーム福井

宇宙飛行士　毛利衛（まもる）氏　特別講演　　青少年交流会

（マニュアルブック2－１－「派遣学生に必要なロータリー知識」）

Rotary District 2650 | rotary youth exchange

青少年交換プログラムとは

（マニュアルブック2－４－）

- 高校生を海外に派遣し、ホストファミリーと生活しながら現地の高校に通い、異なる国、学校、社会環境を体験できるプログラム
- 異文化への適応力、コミュニケーション能力、リーダーシップ能力
- **ロータリーの価値観**を学び、**平和推進者**として世界に広がるロータリーの仲間とつながり、ともに行動する

ロータリーの若き親善大使

Rotary District 2650 | rotary youth exchange

青少年交換プログラムとは

（マニュアルブック2－４－）

- 青少年交換プログラムは、単なる学生プログラムではない。
- 留学生でなく、交換学生(Exchange Student)である。
- 学生とクラブ、地域社会がともに学び、ともに成長しながら、平和につながる人の輪と行動を広げる交流と友情のプログラム

- 学生、保護者、クラブのリーダー（担当委員会、クラブカウンセラー）、ＲＯＴＥＸ（青少年交換学友）、地区委員会がプログラムでの体験をかたちづくる上で役割を担う。

派遣クラブ（スポンサーロータリークラブ）

派遣クラブは、派遣学生のためにロータリーカウンセラーを任命します。このカウンセラーが交換期間中のサポート役となり、質問に答え、心配事の相談に乗り、あらゆる問題の解決を助けてくれます。

親・保護者

親・保護者は、ロータリーと連携し、子どもの挑戦と自立を見守りながら、安全と成長をともに支えます。

Rotary District 2650 | rotary youth exchange

ＲＯＴＥＸ（ローテックス　青少年交換学友）

　研修会などで自分の体験について話をしたり、先輩として交換学生の相談に乗ったり、ＲＯＴＥＸの世界的なネットワークとのつながりを築いたりします。

受入クラブ（ホストロータリークラブ）

ホストファミリー

派遣クラブや受入クラブ以外のロータリーメンバー

Rotary District 2650 | rotary youth exchange

交換学生

　このプログラムは、多くのボランティアの協力によって支えられています。用意されたサービスを受けるだけのプログラムではありません。
あなた自身も、ロータリーやホストファミリー、学校、地域の人たちとともに、交換体験をつくる大切な一員です。
支えてくれる人への感謝と、互いの違いを尊重する気持ちを持ち、自分から交流や活動に参加しましょう。困ったときには相談することも、安全で実りある交換生活をともにつくるために大切です。

あなたは何を学びたいですか。そして、出会う人たちと何を分かち合い、どんなことに一緒に取り組みたいですか。

Rotary District 2650 | rotary youth exchange

国際ロータリーの常設プログラム

（ロータリー章典４１．０５０）
　ロータリー青少年交換は、１９７４年に理事会で採択された国際ロータリーのプログラムである。

　＝世界中の国々のロータリーが共通の目的とルールのもとに行われているプログラムである。

Rotary District 2650 | rotary youth exchange

交換の種類

・長期交換
　LTEP

15歳～19歳の学生が参加
通常10か月～１１か月滞在
2つ以上のホストファミリーの家に滞在
学校に通学

・短期交換
　STEP

15歳～19歳の学生が参加
通常数日間～数週間の滞在
学校の長期休み期間中に行われることが多い

世界中で、毎年６,000人以上の学生が、このプログラムに参加

交換は地区と地区とで交換

交換先

- 長期青少年交換プログラムには、約４０か国の国々の地区が参加しているので、その中から交換先を探す。

- 交換先は、地区委員会で交渉し決定する。学生は交換先を指定できない。
- 交換条件、責務等を盛り込んだ交換契約は地区対地区で契約する。
- 交換先は、国際ロータリーから認定を受けた地区でなければならない。（交換プログラムを実施するにあたって、学生の安全が守られる体制が確立され、青少年保護などの必要な研修が行われている地区でないと認定がされない。）

交換先の決定、出発までのおおまかな流れ

（１）学生のアプリケーション（申請書）の作成（10月～12月）

↓

（２）地区と地区が交換の交渉、合意（１：１、２：２など）（10月～12月）

↓

（３）学生のアプリケーションを派遣先の地区（ホスト地区）へ提出（2月～3月）

↓

（４）ホスト先の地区、ロータリークラブが学生の受入を審査、承諾（3月～6月）

↓

（５）ホスト地区より派遣元の地区（スポンサー地区）へギャランティフォーム（受入保証書）が到達　交換先（派遣地区）の決定　正式に派遣学生となる。（4月～7月）

↓

（６）ホスト先のロータリークラブやホストファミリーとメールなどでやり取りを始めたり、入国ビザの取得の手続、航空券の手配をする。

（７）派遣先へ出発（7月～8月）おおよその出発日はホスト地区より指定される）

２６５０地区の交換先の実績

２０２６-２７年度
5470地区（アメリカ）、6380地区（カナダ）、4420地区（ブラジル）、
4851地区（アルゼンチン）、1430地区（フィンランド）、2000地区（スイス）、
1480地区（デンマーク）
２０２５－２６年度
5470地区、7910地区（アメリカ）、4420地区（ブラジル）、1980地区（スイス）、
1610地区（オランダ）、1390地区（フィンランド）
２０２４－２５年度
5470地区、5970地区、7930地区（アメリカ）、9660地区（オーストラリア）、
4420地区（ブラジル）、1980地区（スイス）、2240地区（チェコ）、
２０２３－２４年度
5470地区（アメリカ）、5970地区（アメリカ）、9790地区（オーストラリア）、
4420地区（ブラジル）、1980地区（スイス）

Rotary District 2650

rotary youth exchange

参加費用について①

青少年交換プログラムは、次世代の世界を担う若者に
国際理解と親善の精神を育んでほしいと願う
ロータリー会員とホストファミリーなどの
地域社会の人々の無償の奉仕によって実施されています。

Rotary District 2650 | rotary youth exchange

参加費用について②

派遣先で通う学校の学費はホストロータリークラブが負担します。

派遣先のホストロータリークラブから少額の小遣い（毎月おおよそ1万円程度）が提供されます。

部屋と食事は、ホストロータリークラブが選んだホストファミリーから提供されます。

交換学生とその家族は、往復の交通費、衣類、医療費、旅行保険、小遣いを自己負担する必要があります。

学生と保護者が負担するおおよその費用（２６５０地区）

Rotary District 2650 | rotary youth exchange

「**出発前**」

（１）青少年交換計画参加手続費用　150,000円

研修費、教材費、国旗1枚、交換バッチ100個、ネームプレート、名刺100枚等）

（２）保護者の研修会参加費用　　34,000円～

（３）研修会等参加のための交通費

（４）渡航費用（パスポート、往復航空運賃、ビザ取得費用）

往復運賃おおよそ３５～５０万、ビザ取得費用５～7万（2022－23度実績）

（５）学生旅行保険料（受入地区の指定あり）

日本に来日する学生が負担する保険料は、約150,000円

（６）予防接種費用　実費

（７）地区統一の青少年交換学生用ブレザー代　約40,000円

学生と保護者が負担するおおよその費用（２６５０地区）

「交換期間中」

（１）衣類等の費用、通信費などの個人的な費用

（２）受入地区主催の旅行などのオプション費用

（３）現地における緊急費用　　約50,000円

参加規定

○国際ロータリーの決まり

　国際ロータリーは以下のことを定めています。
・交換先の法律や習慣に従うこと
・受入地区の規則に従うこと
・門限や家事手伝いなど、ホストファミリーの決まりを守ること
・いかなる種類の車両も運転しないこと
・国際ロータリーの示した補償額及び補償内容に従った旅行保険に加入すること
などなど・・・・詳細は「IV.ルールと注意事項」「アプリケーションに記載されている遵守事項」など

Rotary District 2650 | rotary youth exchange

参加規定

○地区の規則

　交換学生が安全に派遣先で生活し、交換プログラムが継続されるよう、地区は学生が守るべき規則を設けています。この規則と学生に期待される事柄を交換学生にしっかりと理解してもらうために、地区は研修会を実施します。学生はこの研修会への参加が義務づけられています。
　当地区では、第1回～第6回の研修会と壮行会、地区大会への参加を義務としています。
派遣地区側の規則だけでなく、受入地区側の規則があります。

Rotary District 2650 | rotary youth exchange

参加規定

○派遣の取り消し（出発前）
○早期帰国（交換期間中）

　決められた規則に従わなかった場合、または交換学生として不適格と判断した場合やどうしても解決できない問題が生じた際は、派遣前であれば派遣地区が派遣の取り消しをしたり、交換期間中は、学生にとっての最善の措置として、受入地区が学生の早期帰国を決定する場合があります。

ロータリーに関する帰国後の責務

帰国報告　学生を派遣したロータリアンは、交換期間中の経験について学生から話を聞くことを楽しみにしています。スポンサーロータリークラブや地区で発表を行い、自分の体験を話してください。また地区で「帰国報告文集」を製作しますので、原稿の提出をお願いします。

青少年交換学友会 ROTEX（ROTARY YOUTH EXCHANGE STUDENTの略）

ロータリー青少年交換プログラム経験者で構成された学友グループです。帰国後は、ROTEXとして、研修会の企画や後輩へのアドバイス、受入学生IBSのフォローをお願いします。

その他派遣学生に必要な用語

多地区合同（Multidistrict）広い地域で交換を行うために、複数の地区が集まり「多地区合同」として交換を行っている場合がある。
　例、Central States（アメリカ中西部の五大湖周辺とする地域とカナダのオンタリオ州の一部　約１８地区）、デンマーク（フェロー諸島、グリーンランド含む　5地区）など多数

一般社団法人国際ロータリー日本青少年交換多地区合同機構（通称　RIJYEM　ライジェム）
　もともとは、外務省・法務省との対応や、国際ロータリーとの対応など地区単独で対応できない、あるいは解決できない問題などのまとめ役や相談役的立場。
組織を法人化する必要があったため日本３４地区合同の法人とした。

スポンサーロータリークラブ

あなたを推薦する日本のロータリークラブです。

ホストロータリークラブ

あなたを受入、世話をしてくれる派遣先のロータリークラブのことです。

スポンサー地区、ホスト地区

地区は、ガバナーの監督のもと、スポンサー、ホストのロータリークラブの活動を支援

クラブカウンセラー

あなたの派遣に関して、いろいろとアドバイスしてくれるロータリアン（ロータリー会員）のことです。

派遣前は、スポンサーロータリークラブのカウンセラーに、派遣中はホストロータリークラブのカウンセラーに困ったことや悩みを相談してください。

クラブカウンセラーは、問題の解決に努力してくれます。

インバウンド（INBOUND)
　日本に（その国に）派遣されてくる交換学生のこと

アウトバウンド（OUTBOUND)
　海外に（日本に）派遣される交換学生のこと

あなたは、日本ではOutbound Studentですが、派遣先ではInbound Studentとなります。

Exchange Student　Outbound Student(OBS)　Inbound Student(IBS)

入国ビザ　ＶＩＳＡ
ビザの手続きは、原則として学生本人が手続きをして取得していただきます。受入先から受入保証書やビザ取得に必要な書類が送られてきたら、地区委員会に連絡のうえ、速やかに申請手続きを開始して下さい。

Rotary District 2650

rotary youth exchange

研修会

- この研修会は、学生を含むすべての関係者が学び合う場です。
- 派遣予定学生が、安全で実りある交換生活に向けて準備する研修です。

- 派遣予定学生は、青少年交換の意義と自分の役割を理解し、出発までの準備と、周囲に相談しながら主体的に行動する力を育みます。英語のプレゼンの練習もします。

- 保護者やクラブなどの関係者も、派遣予定学生と情報を共有し、そしてそれぞれの役割を理解し、学生の挑戦と成長を支えます。

Rotary District 2650 | rotary youth exchange

2026 年 10 月 15 日 更新

2027-28 年度派遣予定学生　研修会等 開催予定表

	日　　程	場　　所
第１回研修会	2026 年 11 月 1 日（日）13:30～	キャンパスプラザ京都 （2 階 ホール）
第２回研修会	2026 年 12 月 13 日（日）13:30～	京都テルサ （東館 2F 視聴覚研修）
第３回研修会	2027 年 1 月 17 日（日）13:30～	未定
第４・５回 2027-28 年度派遣予定学生研修会兼受入学生研修会	2027 年 3 月 20 日（土）13:00～ 21 日（日）15:00 迄	けいはんなプラザホテル
ロータリー地区大会 ※本人のみ	2027 年 4 月 4 日（日）午前～夕刻	サンドーム福井
第６回研修会	2027 年 5 月 16 日（日）	京都市内（予定）
壮行会	2027 年 6 月 20 日（日）	未定

派遣予定学生に内定されたご本人は、上記研修会･壮行会には必ず出席して下さい。正当な理由なく欠席したと当委員会が判断した場合、内定を取り消します。